

【日本企業の広報】 ラゴス国際見本市開幕式（ジャパンパビリオン）（ナイジェリア）

開催日： 令和元年11月1日

場所： ラゴス州タファワ・バレワ・スクエア（Tafawa Balewa Square）

主催（共催）： JETROラゴス事務所、在ナイジェリア日本大使館

参加企業： 日本企業／日系企業計37社

在ナイジェリア大使館

【概要】

- ジャパン・パビリオンの開幕式前にラゴス国際見本市全体開会式が開催され、外交団代表として本使が挨拶を行い、ブハリ大統領による経済政策や世銀のDoing Business2020レポートにてナイジェリアのランキングが15位上昇したこと等を評価するとともに、TICAD7の成果及びジャパン・パビリオンについて紹介した。
- ジャパン・パビリオンでは、全体開会式に出席していた産業貿易投資国務大臣、ラゴス商工会議所会頭、UBA取締役等を本使がジャパン・パビリオンに案内し、鏡開きを実施。その後、JETROラゴス事務所所長及びJETRO市場開拓・展示事業部総括審議役とともに一行を案内し、ジャパン・パビリオン内の日本企業の製品紹介等を行った。
- ラゴス国際見本市全体開会式では、前年に引き続き2年連続本使が外交団代表として挨拶を行った。
- ブハリ大統領の代理として全体開幕式に出席していた産業貿易投資国務大臣等の要人の出席を得て、前年に引き続き、JETROと共催でジャパン・パビリオン開幕式を行った。本使及びJETRO幹部が一行を案内し、その様子がメディアに報じられた。
- 日本企業出展数は初出品企業14社を含む37社と過去最大となり、同パビリオン内では、これまでの車、電化製品、食品部門といった伝統的な日本製品のみならず、去年に引き続き「女性市場開拓ゾーン」を設置するとともに、金融サービスや簡易トイレ、エンターテイメント部門等の新たな分野も開拓し、多くの来場者の注目を集めた。
- 来場者数は前年から25%増え、約6万8500人を記録。また、前年の「最優秀パビリオン賞」に引き続き、「Most Organised Foreign Exhibitor」を受賞。

